

令和7年度 愛媛県中学校総合体育大会 バドミントン競技の部 監督会議資料

愛媛県中学校体育連盟バドミントン専門部

1 日程について

今年度は急遽、20日に伊予市民体育館で参院選開票作業を行うこととなったため、会場使用時間に制限がある。そのため、例年とは異なる日程で開催する。

7月19日(土) 団体戦 1回戦(1~15)	7月20日(日) 団体戦 2回戦以降	7月21日(月) 個人戦 全日程
13:15 一般開場 13:30 公式練習 ~14:10 13:40 監督会議 14:15 諸注意伝達 14:25 第1試合コール (予定) ※ 1回戦(1~15)のみ行う。	8:00 一般開場 8:15 公式練習 ~8:35 8:45 第1試合コール (予定) 試合終了後 表彰 ※ 14:50 までに必ず会場を 出る。	8:30 一般開場 8:45 公式練習 ~9:25 8:45 監督会議 9:30 諸注意伝達 9:40 第1試合コール (予定) 試合終了後 表彰

【備考】

- 監督は入場後、本部で受付を行う。
- 監督会議は19日(土)と21日(月)に、1階トイレ前の広場で行う。
- 前年度団体優勝、準優勝チームは、19日に旗、杯を本部に返還する。
- 放送で公式練習について案内する。公式練習には、大人は参加しない。
- 諸注意伝達では、審判や会場使用上の注意点のみ説明する。試合の進行については、監督が選手に事前に説明する。
- ★ 20日及び21日には、四国総体出場監督に参加申込について説明する。表彰終了後、大会本部前に参集すること。

2 試合の進行について

組み合わせやタイムテーブル等の必要な資料は各自が持参すること。

- (1) 現行の(公財)日本バドミントン協会競技規則及び同大会運営規定並びに同公認審判員規定に則る。
- (2) 全てのマッチを21点3ゲームで実施(延長は2点連続先取又は30点先取)する。
- (3) YONEXエアロセンサー700の室温に適した番号のシャトルを使用する。
- (4) コート番号は本部から見て左側手前から1~4、右側手前から5~8コートとする。
- (5) 団体戦・個人戦に共通する項目について
 - ・ 試合が連続する場合、10分程度時間を空けることがある。
 - ・ 試合中の汗拭きや給水は試合を中断しないように心掛け、必ず主審の許可を得て行う。
 - ・ すべてのゲーム中に、一方のサイドのスコアが11点になったとき、60秒を超えないインターバルをとることができる。また、ゲーム間に120秒を超えないインターバルをとることができる。選手の元に行くことができるのは最大2名までとし、残り20秒の時点でベンチ又はアドバイザー席に戻る。
 - ・ 足の痙攣などが生じたときは、1分間程度の時間において監督と選手が相談し、継続又は

棄権を判断すること。なお、選手に監督・コーチ又はマネージャーが触れてはならない。

- ・ **競技時の服装・用具は、現行の（公財）日本バドミントン協会審査合格品**とする。
- ・ 上着の背面中央部には、縦 20cm・横 30cm の範囲内に、チーム名及び姓の表示をする。同姓の場合、名の 1 文字目を入れる。**入場～試合開始の挨拶、試合終了の挨拶時には上衣を下衣に入れる。**また、ハチマキの使用は認めるが、体裁よく結ぶこと。
- ・ 試合終了後は勝者がスコアシートにサインをして、本部に持参する。

(6) 団体戦について

- ・ 試合は番号順に行う。原則 1 面展開で行うが、進行が遅れる場合、複数面に展開することがある。準決勝以降は、複数面展開で行う。
- ・ タイムテーブルは予定であり、開始時刻やコートの変更が起こり得る。放送で案内する。
- ・ 試合開始前にオーダー用紙を本部に提出すること。1 回戦は監督会議後、2 回戦以降は、試合終了後速やかに提出する。
- ・ トーナメントの上側チームがステージ側のコートを位置取る。
- ・ 初回戦は、全てのマッチを行う。2 回戦以降は、勝敗が決した時点で試合を打ち切る。
- ・ 上位 4 チームを表彰する。また、上位 2 チームが四国総体に出場する。

(6) 個人戦について

- ・ 試合番号順に放送で対戦者名及び学校名、コートを指示する。
- ・ コールを聞き逃さないように注意する。コール後、直ちにコートへ入ること。
- ・ 選手は線審を 1 名連れて試合に参加する。不足している場合は試合の 10 番前までに本部に申し出る。
- ・ 割り当てられたコートで試合開始直前に練習することを認めない。
- ・ 各種目 3 位に入賞した選手が四国総体に出場する。準決勝で敗れた者が代表決定戦を行う。

※ 四国総体は、8 月 2 日（土）、3 日（日）松山市総合コミュニティセンターで実施する。県中体連 HP を通して、大会参加申込を行うこと。四国総体の詳細は中体連 HP を参照すること。

3 審判について

- (1) 団体戦、個人戦ともに、試合の敗者が次の試合の審判を務める。
- (2) 審判が試合開始と終了の号令を掛け、スムーズに進行する。
- (3) 教員や部活動指導員、外部指導者、地域クラブの指導者が審判を務めない。
- (4) いかなる場合も審判に対する抗議を認めない。それと同様の行動も慎むこと。ただし、質問は認める。団体戦では、選手又は監督が、個人戦では選手が主審に質問する。判定に服さない場合は、その試合を放棄するものとみなす場合がある。
- (5) 次のような行為をフォルトとする。
 - ・ 試合中、審判に無断でコートを離れる。
 - ・ サービスを故意に遅らせる。
 - ・ レシーバーが故意に構えを遅らせる。
 - ・ 相手を威嚇したり、ネットをラケットでたたくなどしたりする、品行を損なう行為。
 - ・ 体力や息切れの回復狙い、あるいはサイドコーチを受けるためにプレイを中断する。
- (6) 中学生が審判を務めるため、インアウトの判断やサーブ高（115cm）について、不徹底が想定できるが、選手のために最善を尽くすことを事前に各チームで指導し、演習させること。

4 コーチング席について

- (1) 次の者がコーチング席に座ることができる。

全て県総体申込用紙に記載した者

- ・ 団体戦…監督、コーチ・マネージャー、選手
- ・ 個人戦…監督、コーチ・マネージャー、団体戦登録選手

- (2) 各チームが作成したＩＤカードを見える位置に身に付ける。学校の外部指導者及び部活動指導員は、校長印が押されている証明書を併せて身に付ける。身に付けていなければ、座席に座ることを認めない。ＩＤカードには「氏名」、「監督」などの身分、「所属チーム名」を記載する。
- (3) 監督及びコーチの服装は、上衣は襟付きのシャツ、ポロシャツまたはバドミントンウェアに準ずるものとし、Ｔシャツ等は認めない。**チームで揃えたロングＴシャツは認める。チーム名以外の表記（県名や別チーム名など）があるものを着用しない。**また、**下衣は長ズボン（ジーンズは不可）又はスカートを着用する。七・八分丈ズボンは認めない。**履物はシューズとし、サンダル等での入場は認めない。

5 会場の利用について

- (1) 水容器は倒してもこぼれないものを使用すること。また、水筒やペットボトルホルダー等の使用し、水滴（結露）が床につかないように工夫する。
- (2) 応援は、拍手（手拍子等リズムを取ることも含む）並びに声援による。リズムを合わせる場合は、まとまりのあるものにすること。鳴り物や脚を踏み鳴らす行為等の応援は認めない。団扇を叩くのは不可とする。
- (3) **観客席では、立って観戦又は応援することを控える。また、フラッシュを使用した撮影を控える。**
- (4) 館内のごみ箱には、館内の自販機で購入した物のみを捨てる。
- (5) フロア以外での羽やラケットを使った練習を禁止する。
- (6) フロアでの携帯電話やタブレットなどの電子端末の使用を禁止する。
- (7) 荷物及び貴重品は各チーム、各自が管理すること。
- (8) マナーを守って、施設に迷惑を掛けないう過ぐす。